

令和2年度事業計画について



1-1 活動の進め方に関する基本的考え方

安全で安心して生活できる現在の環境を維持するための活動が自治会に求められています。高齢化や少子化が進んでいる現実を踏まえ、日々の生活に則した活動を推進していきます。

また、一方で、時代の変化や傾向に対して考慮した活動も考えなければなりません。武蔵台には生活福祉の面からこれらの変化に対応していこうとする活動を進める任意団体「こま武蔵台福祉ネット」があります。そして、将来に渡り、人が住み賑わいが絶えることのない持続可能な元気なまち作りを目指す地域活性化任意団体「げんきネット武蔵台」が昨年発足しました。このような先のことを考えた活動を進めていくためには、これら団体と自治会だけでなく、市行政をはじめ、官、学、産との連携が不可欠です。

新年度の自治会活動は、このようなことを念頭に置いて進めていきます。

2. 1. 2 事業計画の概要

(1) 移送サービスの充実

利用者がより利用しやすいように、そして、運行を担って頂いているボランティアの方々の負担を少しでも軽減できるように、移送サービスの改善・充実を図ります。

(2) 夏祭り

少しでも多くの住民の皆さんが、準備や祭りに無理なく楽しく参画して頂ける手作りの祭りにしていきます。

(3) 安全への取り組み

台風や豪雨、地震災害が発生した時の具体的な対応基準、ガイドラインの作成に向けた取り組みを進めます。

大雪があった場合の雪かきお助け活動体制の設立を検討します。

街の安全環境維持向上を目指したシステムの在り方を検討し、将来的に見た導入の必要性を考えます。

(4) 環境への取り組み

団地内の大掃除は、私たち住民で行う範囲と、行政にて対応をお願いする範囲を見直し、高齢化を考慮した持続可能な活動に変えていきます。

(5) 広報の取り組み

武蔵台で今何が起きているかを知り、将来に向けて何をどのように考えていくべきかを踏まえた情報誌作りを目指します。

(6) 行政や地域団体との関係を密にする取り組み

当地区に関係する行政の発信情報を迅速的確に住民の皆さんに周知することに努めます。

同時に、住民の皆さんから受けた行政への要請を考察・把握し、迅速な対応を図ります。

また、持続可能な街づくりを目指す地域の諸団体や行政、大学及び企業と必要な連携を図り、元気な武蔵台を目指す活動に協力します。